

## 東日本大震災から 10 年を迎えるにあたって

東北地方を中心に未曾有の被害をもたらした東日本大震災から、まもなく 10 年が経とうとしています。今、あらためまして、この災害で亡くなられた方々に、謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り申し上げるとともに、被災された皆様には心からお見舞い申し上げます。また、今現在も不便な生活を強いられている方々が、一日でも早く元の生活に戻られるよう心よりお祈り申し上げます。そして、各地域で復興および地域振興にご尽力されている方々に深く敬意を表します。

東日本大震災をきっかけに設立された生団連は「国民の生活・生命を守る」ことを使命として、産業界と消費者団体・NPO 等が結束して活動する日本で初めての国民団体です。設立当初より災害対策委員会（現在は新・災害対策委員会）を設置し、「大震災への備え事例集」や「3.11 東日本大震災 ～今、改めて東日本大震災を総括する～」の発行、一人ひとりの自助力向上を目的とした動画「あなたにもできる災害医療の基礎～“自助力”向上にむけて～」の一般公開など様々な活動に取り組んでまいりました。

現在は「生団連災害支援スキーム」での実効性のある支援実現を重点課題に掲げ、災害支援関連団体や企業とのネットワーク拡大、サプライリストの充実などに取り組んでおります。昨年 12 月には特定非営利活動法人ジャパン・プラットフォーム（JPF）との「災害時における連携協力に関する協定」を締結いたしました。JPF は行政、企業、NGO/NPO と協働して支援を被災地へと繋ぐことのできる機能を持っている緊急人道支援の国際 NGO です。平時から JPF と緊密に連携を図りながら、災害発生時の円滑な支援実施のため整備に尽力してまいります。今後も、一般社団法人 Smart Supply Vision や特定非営利活動法人ピースウィンズ・ジャパン、一般社団法人ピースボート災害支援センターなど、実際に災害支援に取り組む会員団体や会員企業とともに、災害時の「情報収集の体制」や「支援の仕組みづくり」をさらに強力に推進してまいります。

私たちは 3 月 11 日という日を迎え、あらためて東日本大震災を心に刻み、復興・防災・支援の仕組みづくりについて考えていかなければなりません。3 月 31 日には冊子「東日本大震災から 10 年を迎えて」を発行いたします。東北地方の生団連会員企業などにオンラインインタビューを行い、それぞれのご経験、長期的な復興およびその先の振興に対し私たちがすべきことを伺いました。皆様にもぜひご覧いただければと思います。生団連は被災地の一日も早い完全復興を祈念しております。

《リンク》

- ・ 大震災への備え事例集 [https://www.seidanren.jp/pdf/shinsaisonae\\_b4.pdf](https://www.seidanren.jp/pdf/shinsaisonae_b4.pdf)
- ・ 「3.11 東日本大震災 ～今、改めて東日本大震災を総括する～」 デジタルブック  
[https://www.seidanren.jp/digitalbook/311\\_soukatsu/](https://www.seidanren.jp/digitalbook/311_soukatsu/)
- ・ 「あなたにもできる災害医療の基礎～“自助力”向上にむけて～」  
[https://www.youtube.com/watch?v=GQ7Dbn\\_K0cw&feature=youtu.be](https://www.youtube.com/watch?v=GQ7Dbn_K0cw&feature=youtu.be)
- ・ 一般社団法人 Smart Supply Vision <https://smart-supply.org/>
- ・ 特定非営利活動法人ピースウィンズ・ジャパン  
「特設サイト東北 10 周年 感謝を原動力に」 <https://peace-winds.org/east-japan10years/>
- ・ 一般社団法人ピースボート災害支援センター <https://pbv.or.jp/>
- ・ 特定非営利活動法人ジャパン・プラットフォーム <https://www.japanplatform.org/>

以上